

# 令和6年度 3年次生 学びのプラン

教科名	家庭科	単位数 (コマ数)	3単位 (3コマ)	履修年次	3年次		
科目名	ライフデザイン	履修	選択	開講	通年		
教科書	なし	副教材	なし				
<b>1 学習の目標</b>							
<p>家庭基礎における学習を基礎として、自らの目指すライフスタイルを実現するため生活資源を有効活用し、進学や就職など、生涯を見通した自己の生活をデザインする姿勢を養う。また、自らの生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>							
<b>2 学習の方法</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は、指定された教室で授業を行います。</li> <li>・必要に応じて、調理実習室、被服室での実習を行います。</li> <li>・授業はワークシートを使用します。ワークシートは配布するファイルにとじてください。</li> </ul>							
<b>3 評価について</b>							
<b>①評価の観点</b>							
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に生活を営むために必要な技術を総合的に身につけ、情報を収集・整理し、検討することができたか。</li> <li>・自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解しているか。</li> </ul>						
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らを見つめ、生活課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けたか。</li> </ul>						
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしているか。</li> <li>・自分や家族の生活に関心をもち、意欲的に日常生活の改善・向上に努めようとしているか。</li> </ul>						
<b>②評価の方法</b>							
観点	材料	定期 考査	単元 テスト	課題	ワーク シート	グループ ワーク	評価方法
知識・技能		○		○	○		考査、実験・実習、ワークシート
思考・判断・表現				○	○	○	実験・実習、ワークシート、グループワーク
主体的に学習に取り組む態度				○	○	○	実験・実習、ワークシート、グループワーク
<b>4 その他</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>※実験実習のため、実習費4,000円を徴収します。</li> <li>※帯広市立松葉保育所との交流実習を実施します。</li> </ul>							

5 単元の目標・評価										
科目名	青年期	単元名 人生をデザインしよう								
単元の目標	1 自分らしいライフスタイルや価値観の形成に関心を持つ。 2 自分に夢や希望を実現するための職業生活・家庭生活・地域社会生活・経済生活について、多角的に考える力を養う。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	長期的な生活計画を立案する際の課題を理解している。青年期の課題をふまえて、充実した人生を送るための生活設計を立案することができる。			自分の夢や希望を実現するためには職業生活・家庭生活・地域社会生活・経済生活などさまざまな視点で人生をとらえる必要があることについて考えを深め、意見交換したり、考えたことを発表したりしている。			自分らしいライフスタイルや生活にかかわる価値観、生活時間のありかたなどをふまえ、将来の生活設計の立案に取り組んでいる。			

科目名	保育	単元名 子どもと子育てについて知ろう								
単元の目標	1 子どもの行動の背後にあるものを理解し、その関わり方を知る。 2 子どもの権利条約の理念を知り、子供の人権について理解する。 3 子どもの成長発達にとってふさわしい家庭や、社会環境の整備の大切さを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	子どもを取り巻く環境の変化や課題について理解している。交流実習においては、子どもの様子をよく観察し、適切な対応をすることができる。			子どもを取り巻く環境の変化について理解し、自らの生育歴や家庭環境をふまえ、将来の家庭設計について考えを深め、表現することができる。			育てられる立場と育てる立場の両方の視点に立って、ものごとをとらえ、それぞれの課題について興味関心をもち解決に向けて取り組むことができる。			

科目名	衣生活	単元名 伝統手芸製作(刺し子)								
単元の目標	日本の伝統文化について理解し、その背景や手法を理解して作品製作に取り組む。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	日本の伝統文化について理解する。刺し子の手法、伝統的な図案、その意味合いを理解して製作する。			刺し子の美的要素を理解し、制作意図に基づいて製作する。			主体的に伝統文化について探究し、作品に生かそうとする。学習を通じて伝統文化や刺し子制作に興味関心を抱き、諸活動に生かそうとする。			

科目名	食生活	単元名 十勝の食・日本の食・世界の食								
単元の目標	十勝の農業や食の特徴を理解し、食糧自給や地産地消、十勝の食文化を理解し、消費者として身につけるべき知識と知識と判断力について考える日本および近隣諸国や世界の食環境問題について、自分自身の問題として捉える姿勢を身につける。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	十勝の食や農業、日本や世界の状況を理解する。その課題を自らの生活とリンクさせ、課題解決方法を提案、実行することができる。			十勝の食や農業、日本や世界の状況を知り、その課題を自らの生活とリンクさせ、課題解決方法を提案、実行することができる。			主体的に十勝の食や農業、日本や社会の食糧事情について探究し、自らの生活に生かそうとする。			

科目名	高齢期	単元名	高齢者について
単元の目標	高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 高齢者の支援制度や施設について理解を深める。		
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	高齢化社会の現状や課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめることができる。	高齢社会の課題やその解決にむけて、新聞記事などを収集し・分析する課程において、課題の発見、解決の方向を導き出すことができる。	主体的に高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかわろうとしている。

科目名	消費生活	単元名	消費生活について
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な消費行動について多角的に考える。</li> <li>・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。</li> <li>・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解する</li> </ul>		
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている	多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができる。	自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。

6		年間計画				
学期	月	単元	項目	予定時数	考查	
前期	4	オリエンテーション 青年期	人生をデザインしよう	ライフデザインについて理解する 自己紹介 マインドマップ 宣誓書「10年後の自分へ」	1 12	前期 中間 考查
	5	保育	松葉保育所との交流実習	保育所訪問や校内見学等	3	
	6	衣生活	伝統手芸製作	刺し子製作	25	
	7	保育	松葉保育所との交流実習	保育所訪問など	5	
	8	食生活	十勝の食・日本の食・世界の食	・十勝の農業と食文化 ・日本の食 ・世界の食 ※調理実習	22	
	9					
	10	高齢期	高齢期について	・高齢期について理解を深める ※外部講師講座	10	
	11	保育	子どもの権利条約出前講座	※外部講師講座	2	
後期	12	消費生活	消費者被害防止講座	※外部講師講座	10	後期 期末 考查
	1					
	2					
	3					